

あ い か わ 議 会 だ り

第 184 号

令和7年2月15日発行

冬の石小屋ダム

- ・「愛川町議会基本条例調査報告書」を議長へ提出…… P.3
- ・11人の議員が一般質問で登壇 町政を問う…… P.5～10
- ・各常任委員会の行政視察報告…………… P.11～13

〈第4回12月定例会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP15をご覧ください



令和7年2月15日

2024
愛川町議会

令和6年第4回愛川町議会「12月定例会」は12月2日から12月13日まで、会期12日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例の一部改正や補正予算など、合計で10件の町長提出議案、2件の議員提出議案について審議し、全議案を可決しました。

条例議案

◎刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定（賛成全員）

「刑法等」の一部改正に伴い、懲役及び禁固刑を廃止し、拘禁刑が創設されることから、関係する条例について所要の改正を行うものです。

【施行期日】

令和7年6月1日

◎愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正（賛成全員）

人事院勧告の内容に準拠し、一般職の職員、定年前再任用短時間勤務職

員及び特定任期付職員の給与改定に係る所要の改正を行うものです。

【施行期日 公布の日】

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正（賛成全員）

一般職の職員の給与改定に準拠し、常勤特別職（町長、副町長及び教育長）の期末手当の支給割合の改定を行うものです。

【施行期日 公布の日】

◎愛川町税条例の一部改正（賛成全員）

「地方税法」の一部改正に伴い、再生可能エネルギー（バイオマス）発電設備に係る固定資産税の課税標準の特例割合の見直しや、企業主導型保育事業に係る固定資産税の課



バイオマス発電イメージ

税標準の特例措置が廃止されたことから、所要の改正を行うものです。

【施行期日 公布の日】

補正予算

◎令和6年度愛川町一般会計補正予算(第3号)（賛成全員）

第50回衆議院議員総選挙が令和6年10月15日公示、同27日に執行された



令和6年第4回12月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	月	本会議	町長提出議案の説明・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明
			総務建設 常任委員会	所管事務調査
			教育民生 常任委員会	所管事務調査
	4	水	本会議	一般質問（6人）
12	5	木	本会議	一般質問（5人）
	13	金	本会議	町長提出議案の質疑・討論・採決 議員提出議案の質疑・討論・採決

◎令和6年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)（賛成全員）

◎令和6年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)（賛成10人、反対3人）

◎令和6年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)（賛成全員）

◎令和6年度愛川町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)（賛成全員）

議員提出議案

◎愛川町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正（賛成全員）

「刑法等」の一部を改正する法律」の施行に伴い、

愛川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部、第54条から第56条までの規定中「懲役」を「拘禁刑」に改めるものです。

【施行期日 刑法等の一部を改正する法律の施行日】
◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正（賛成全員）

町議会議員の期末手当支給割合について、町一般職及び特定任期付職員や常勤特別職に準じ、引き上げを行うことが妥当であることから、町議会議員の期末手当について、0.1月分を引き上げ、年間の支給割合を4.5月から4.6月とするものです。

【施行期日 公布の日】

個人総括質疑

補正予算議案について、
茅孝之議員、阿部議員、花
上議員、熊坂議員、小林議
員の5名が個人総括質疑
を行いました。質疑項目
の一部を紹介します。

公園施設維持管理経費
(有料公園施設分) 増額

■増額の詳細について

小児医療費助成事業費
増額

■増額の詳細について

高等学校等通学助成
事業費増額

■増額の詳細について

公共施設整備基金
積立金増額

■増額の詳細について

自立支援医療費給付
事業費増額

■増額の詳細について

●陳情 (審査の結果机上配付となったもの)

受理 番号	受理年月日	件 名	陳情者
12	R6.10.24	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める 陳情	横浜市中区桜木町3-9 3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広
13		安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と 処遇改善を求める陳情	
14		介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改 善を求める陳情	
15	R6.11.11	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求 める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利
16		神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提 出を求める陳情	
17	R6.11.15	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われ る国への渡航移植等を防止するための法整備等 を求める意見書提出の陳情	東京都新宿区西新宿3丁目3番13号 西新宿水間ビル6階 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章

陳情のゆくえ

町議会基本条例
調査報告書の提出

議会基本条例は、愛川
町自治基本条例で定める
「議会の責務」をより明確
にするため、「広く町民の
声を聴く議会」「町民とと
もに歩む議会」「町民参加
を基本とする開かれた議
会」の視点に立った議会の
最高規範として制定し
ています。

令和6年度は、議会運
営委員会において複数回
にわたり条例の検証を行
いました。

その結果、今日の時勢
を踏まえ「災害時の対応」
及び「情報通信技術の活
用」について、新たに条文
化する方針が決定。令和
6年12月2日に議長へ
「愛川町議会基本条例調
査報告書」を提出しました。

今後は、議会運営委員
会の検証結果に基づき、
新たに条文化が必要と思
われる内容を協議してい
きます。



議会基本条例の詳細はこちら
(町議会ホームページ)



佐藤議会運営委員会委員長から
井出議長へ調査報告書を提出



マチイロ

マチを好きになるアプリ

本町を含む各自自治体の
広報紙を閲覧できる無料
アプリ『マチイロ』でも「議
会だよりあいかわ」をお
届けしています。スマー
トフォンなどで、手軽に
ご覧になることができま
す。左記にある2次元コ
ードから専用ページにリ
ンクします
ので、ぜひ
ご活用くだ
さい。



令和6年第4回(12月)定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出第59号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可 決
町長提出第60号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第61号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第62号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第63号	専決処分の承認について (令和6年度愛川町一般会計補正予算 (第3号))	承 認
町長提出第64号	令和6年度愛川町一般会計補正予算 (第4号)	可 決
町長提出第65号	令和6年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可 決
町長提出第66号	令和6年度愛川町介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可 決
町長提出第67号	令和6年度愛川町公共下水道事業会計補正予算 (第1号)	可 決
町長提出第68号	愛川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議員提出第9号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名	愛川の新時代					公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ			議決結果
		渡辺基	山中正樹	花上功	熊坂健太郎	茅大夢	佐藤りえ	井出一己	岸上敦子	鈴木信一	井上博明	小林敬子	茅孝之	小島総一郎	阿部隆之	
町長提出第66号	令和6年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	※	○	●	●	●	○	○	○	可 決

※議長は採決に加わりません

教育民生常任委員会

1月17日に、健康づくり普及啓発事業費、戸籍総合システム管理経費についての説明を受けました。

また、老人福祉施設維持管理経費(老人福祉センター机購入)、学校施設整備事業費(中学校消防設備改修工事)、地域公民館等集会施設整備事業費(エアコン整備補助金)について、現地調査を行いました。



老人福祉センター机購入の現地調査
(半原老人福祉センター)



中学校消防設備改修工事の現地調査
(中原中学校)

総務建設常任委員会

1月14日に、マーケティング推進事業費、コンビニエンスストア等収納システム管理経費、ダム周辺地域振興事業費についての説明を受けました。

また、農道等維持管理経費(多面的機能支払事業費補助金)、庁舎等維持管理経費(庁舎分館電気・LAN配線設置等工事)について、現地調査を行いました。



多面的機能支払事業費補助金の現地調査
(小沢地区)



庁舎分館電気・LAN配線設置等工事の
現地調査

常任委員会 1月所管事務調査

地方分権の進展に伴い、行政が行う事務が専門化している中、常任委員会
が所管する事項について調査をするため、所管事務調査を実施しました。

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
なお、12月定例会の会議録は、3月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。



茅 孝之 議員 P.5

・ペアレント・メンターの新設について

花上 功 議員 P.6

・平和教育の推進について

井上 博明 議員 P.6

・第1号公園整備事業について ほか

岸上 敦子 議員 P.7

・婚姻届・婚姻届受理証明書について ほか

阿部 隆之 議員 P.7

・河川遊客の避難誘導体制について ほか

渡辺 基 議員 P.8

・犯罪被害者等支援条例の制定について ほか

茅 大夢 議員 P.8

・高齢者でも歩いて暮らせるまちづくりについて ほか

小林 敬子 議員 P.9

・不登校児童生徒と保護者への支援の取り組みについて ほか

鈴木 信一 議員 P.9

・農業を守り育てる施策について ほか

佐藤 りえ 議員 P.10

・認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

熊坂 健太郎 議員 P.10

・ごみの再資源化や不要品の再利用について



©愛川町

町長 ペアレント・メンターは、相談者にとって育児等への自信にもつながるなど、国でも有効な支援方法の一つとして推奨されている一方で、人材確保や育成面に課題があるため、先行事例を参考に研究していきます。

人材確保などに課題 先行事例参考に研究

問 発達障がいの子どもの子育てで悩む親が増加する中、安心して子育てしやすい環境整備のため、※ペアレント・メンターの新設が必要と思いますが、町の考えを伺います。

発達障がいの支援
相談できる安心感



かや 茅 孝之 議員



※ペアレント・メンター：自らも発達障害のある子どもの子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親のこと。

楽しい子育てのための
**ペアレント・プログラムに
参加してみませんか。**

●子どもの困った「行動」に
お悩みではありませんか？
●できるところをみつけて、
ほめるコツを学びませんか？

このペアレント・プログラムは、
子育てに楽しさを感じる保護者の方が
お子さんの「行動」の理解の仕方を学び
楽しく子育てをする自信をつけること
子育ての仲間をみつける機会とすること
を目的とした全6回のプログラムです。
ぜひ、ご参加ください。

ポイントは
行動で
考える
行動のしくみを理解して
子どもに具体的にどのように
行動したらよいのかを確かな
答えを見つけよう！

**ペアレント・プログラムの
目標**
キーワードは
**ほめる
対応**
がんばっているところ、努力している
ところに注目！ ほめ上手になって
子どもと接してみよう！

**シェアしよう
仲間
づくり**
同じ悩みを持つ保護者どうし
で子育てをともに考え、アイデアを
出し合って毎日の生活に
役立てよう！

福祉支援課長 このプロ

実践的な家庭の取組 自信ある子育て効果

こうしたことから、育
児のストレスを軽減し、
子どもの行動に困ったと
きや、自信を持って子育
てをしたいと考えている
方に効果があるものと認
識しています。

問 ペアレント・プログラムは、厚生労働省が行っている支援で、子育てに難しさを感じる保護者の方が、お子さんの行動の理解の仕方を学び、楽しく子育てする自信をつけることや、子育て仲間を見つけていることを目的とするプログラムですが、町は同プログラムをどのように認識しているか伺います。

ペアレント・プログラムの認識

プログラムは、子どもの心理的発達や行動の背景を理解する講義のほか、ポジティブなコミュニケーション方法の学習や、実践的な家庭での取り組み方の共有が行われ、保護者同士が交流し、支え合える環境が整えられることが期待できます。

戦後80年の節目 行政事業のあり方



はなうえ いさお
花上 功 議員



問

現在、国内においては平和が維持されているものの、世界的には戦争や紛争が多発し、罪のない人々が連日命を落としています。令和7年度は、戦後80年の節目を迎えますが、平和行政事業のあり方について伺います。

平和思想普及掲ぐ 啓発事業に取組む

町長 本町では、平成7年に平和の町宣言を制定し、総合計画においても平和思想の普及を掲げています。

7年度は、戦後80年の節目であり、平和事業の

戦後の歴史教科書採択

問

戦後の教育は、日本の歴史の負の面ばかりを強調し、戦勝国側の立場に偏った歴史観を日本国民に植え付け、その結果、現在の歴史教科書は比較的自己虐史観の強いものが多いと思いますが、教科書採択について町の見解を伺います。

愛甲採択地区協議会 採択方針を決定する

教育次長 町定例教育委員会において、適正かつ公正な採択が確保できるよう、愛甲採択地区協議会を設置し調査研究を行うことや、静ひつな採択環境を整えることなどの採択方針を決定します。

その後、愛甲採択地区協議会での調査研究及び協議結果の報告を受けて、教育長、教育委員による審議を行い、各教科用図書の採択を行っています。



平和記念公園（広島市）

担当部署と教育委員会との連携の中で、戦争の悲惨さと平和の尊さについて広く伝えることができよう、啓発事業に取り組んでいきます。

中津工業団地第1号公園 テニスコート損傷 早期の改修を求む



いのうえ ひろあき
井上 博明 議員



問

令和5年6月定例会において、第1号公園のテニスコートの損傷が著しく、早期の改修を要請しました。

そこで、改めて早期の改修を求めますが、町の取り組みを伺います。

補助メニュー見出し 実現できるよう努力

町長 この間における損傷の程度を見ながら、新たに活用できる補助メニューが見出せれば、全体予算の見合いの中で、早期に改修が実現できるように努力していきたいと考えています。

県道54号相模原愛川線 宮原用水路の歩道整備

問

県道54号、半原1927番地の1先から町森林組合手前までの宮原用水路は、歩道が未整備状態です。

そこで、県と連携した歩道整備を早急に実施していただきたいと思いますが、その考えについて伺います。

必要性高いと認識 県と連携し進める

町長 当該区間はバス路線でもあり、歩行者の安

全確保や歩道の連続性などを考慮しますと、整備の必要性は高いものと認識しています。

本町としては、地域住民の意見もお聞きしながら、県と連携し整備を進めていきたいと考えています。

【その他の質問項目】
・今後の行政運営について
・空き家対策について



第1号公園テニスコート

町長 婚姻届受理証明書は、全国一律の手数料がかかることもあり、交付件数は年間数件に留まっています。複写式のオリジナル婚姻届の活用を進めることによって、「記念」としてのニーズは満たされるものと考えていますので、婚姻届受理証明書は現行の様式で交付していきます。

年間数件に留まる 現行の様式で交付

問 婚姻届受理証明書について、町独自の証明書を作成する考えを伺います。

婚姻届受理証明書 町独自作成の考え



岸上 きのし



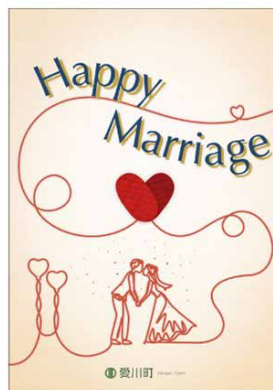
敦子 議員

町長 本町では、官民連携の中で、認定こども園への移行をはじめ、1歳児の受け入れ体制の整備、小規模保育施設3園の開設のほか、施設改修に伴う整備費の補助などの支援を行ってきました。

様々な施策を進める 情報共有需要捉える

問 町内の民間保育施設等への今後の支援策について、伺います。

民間保育施設等への支援策



愛川町オリジナル婚姻届

お子さんを安心して預けることができる環境の整備については、官民が連携して取り組むことが重要であることから、引き続き、様々な施策を効果的に進めるとともに、「官民連携保育推進会議」などを通じて、民間保育施設等との情報共有を行い、その時々々のニーズを捉えながら、適切な支援を行っていききたいと考えています。

町長 新たな財源の確保という面では、ネーミングライツの導入は一つの手法でもあり、施設の利用状況や利用者の分析、効果等を見ながら研究をしていききたいと考えています。

導入は一つの手法 状況等を見て研究

問 町の自主財源の確保や施設の利用促進につながり、企業側も地域貢献によるイメージアップや宣伝効果も期待できるネーミングライツ制度の導入について、町の考えを伺います。

ネーミングライツ 宣伝効果も期待



阿部 あべ



隆之 議員



避難場所の案内 (例)

町長 災害の未然防止や早期の避難行動を促すた

平時から情報発信 関係機関との連携

問 近年、南海トラフなどの大地震や急な豪雨による風水害が懸念されており、町民は勿論ですが、町外から観光目的で訪れる方々の避難誘導体制などの整備についても考える必要がありますが、町の考えを伺います。

河川遊客の避難誘導体制

め、防災行政無線や広報車、SNSによる呼び掛けを行うほか、宮ヶ瀬ダム放流時には電光掲示板やサイレン、警報車での巡回による注意喚起、エフエムさがみによる災害情報の発信などを行っています。引き続き、河川遊客の安全確保に向けて、平時からの情報発信や災害の恐れが生じた際の注意喚起など、関係機関と連携し取り組んでいきたいと考えています。

令和7年2月15日

犯罪被害者等支援条例 被害の軽減回復 条例制定の考え



わたなべ もと
渡辺 基 議員



問

犯罪被害者等支援条例の制定は、犯罪被害者等の権利と利益の保護や被害の軽減及び回復を図り、市民の誰もが安心して暮らせる地域社会を実現させますが、同条例を制定する考えを伺います。

様々な支援実施 状況を見極める

町長 本町では、支援ネットワークの中で活動に取り組むなど、様々な支援を実施しており、同条例の制定は、その必要性や実効性を取り巻く状況を良く見極め考えていく必要があると考えています。

投票率向上に向けた取り組み

問

近年、各種選挙の投票率は低下しています。そこで、投票率の低い要因と投票率向上に向けた取り組みについて伺います。

様々な選挙啓発 粘り強く取組む

町長 投票率については、選挙に関心が高い高齢者と選挙に関心が低い若者とのギャップが投票率の低下の一因となっています。引き続き、明るい選挙推進協議会と連携し、様々な選挙啓発活動を重ねながら、投票率向上に向け粘り強く取り組んでいきたいと考えています。



第9投票区 投票所（上熊坂児童館）

ベンチの設置へ 高齢者外出支援



かや ひろむ
茅 大夢 議員



問

町なかにはベンチを増やすことで高齢者の外出を促し、健康増進、社会参加に資すると考えます。そこで、ベンチの設置を含め、高齢者の外出を支援する町の考えについて伺います。

有効幅員課題あり 桜台小沢線を確認

町長 町なかへのベンチの設置は、設置後に歩道の有効幅員が原則2メートル以上確保できるか等の課題があります。まずは地域の実情等を確認し、特に桜台小沢線辺りから確認を進めていきたいと思っています。

※PFASに対する対応と課題

問

発がん性物質のPFASが全国各地の河川等の水源地で検出されています。命の源ともいえる水の安全性に懸念が持たれており、深刻な社会問題となっています。

そこで、当該物質に対する町の対応と今後の課題について伺います。

6地点で毎年検査 検査結果は不検出

町長 本町では、国からの通知に基づき、令和3年度から町内の6か所の水道取水地点で毎年、P

※PFAS：人工的に作られた有機フッ素化合物の総称で、水や油をはじく効果があり、熱にも強いことからさまざまな製品に使われています。

PFOS・PFOAは、PFASに分類される代表的な物質です。

FOS、PFOAの検査を実施しているほか、県の保健所が水質監視業務の中で水質検査を実施しており、いずれも検査結果は不検出となっているため、安全性には問題がないと認識しています。また、県営水道においても同様の検査を行っており、不検出となっています。



桜台小沢線（東大塚バス停）

関係機関と連携 個々に合う支援

教育長 不登校の要因については、学校だけでなく、外部の関係機関等と連携したチームによる支援を行い、的確に把握できるよう努めています。

支援については、組織的な連携を進める中で、適切に不登校児童・生徒の要因を把握し、個々に合った支援を進めています。

問 文科省は、不登校の要因を的確に把握し、きめ細かな支援が必要としています。が、町でも要因を把握し、対応する考えについて伺います。

不登校の支援必要 要因の把握と対応



こばやし 議員



けいこ 議員



再整備中の中津工業団地第1号公園

耐久性高い人工芝 周囲に流出防止策

町長 今回整備する多目的広場は、平時の多目的な利用はもとより、大規模災害時の利用形態も考慮した上で、一般的なナイロン製の人工芝と比べ

は流出防止のためのフィルターを備えた排水施設を整備し、供用後も日常的なブラシがけや清掃を行うなど、国が推奨するガイドラインに沿った対策を講じ、環境にも配慮した施設とします。

問 第1号公園再整備で張り替え予定のロングパイルの人工芝は、マイクロプラスチックの発生が危惧されることから、その対策について伺います。

クッション性や水はけがよく、芝そのものが抜けないく耐久性の高い最新の人工芝を使用することで、マイクロプラスチック発生を抑制します。

また、人工芝の周囲に

マイクロプラスチック発生が危惧

町長 地域農業を維持するためには、意欲ある新規就農者の確保・育成に努め、農地の集約・集積化を図るとともに、企業参入などによる農地の有効活用も進める必要があると認識しています。

本町では、認定新規就農者に対する就農初期段階での資金や家賃助成、遊休荒廃農地の再活用に係る補助制度のほか、自然災害による減収や市場

資金や家賃助成等 就農しやすい環境

問 農業を守り、育てる施策について伺います。

農業を守り 育てる施策



すずき 議員



しんいち 議員



愛川町・愛川町社会福祉協議会

いざという時に備え、自分の想いを記録しておくノートです。

町長 本町においては、ひとり暮らし高齢者として807世帯の登録があり、そのうち27%の22世帯が親族と疎遠で、支援が見込めない方や後見人などがいない方となっています。

【その他の質問項目】
ハラスメント対策について

27%22世帯 必要に応じ助言

問 本町における身寄りのない高齢者の現状と今後の取り組みについて伺います。

身寄りのない高齢者 現状と今後

身寄りのない高齢者のうち、認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な方については、日常生活上の様々なサポートなどを行う社会福祉協議会の「愛川あんしんセンター」の利用を促すほか、「権利擁護支援センター」から、必要に応じて助言をいただき、成年後見制度の利用手続きを行うなどの対応をしています。

価格の下落等のリスクを対象とする「農業経営収入保険」の加入に係る補

助を行うなど、就農しやすい環境づくりに取り組んでいます。

令和7年2月15日

「ピアサポート」地域の環境整備



さとう りえ 議員



問 インターネット
による交流も含め
た、地域における「認
知症ピアサポート」環
境の整備の考えにつ
いて伺います。

人材確保や活動支援 先進事例の情報収集

町長 県央地域を所管す
る県指定の認知症疾患医
療センターの「厚木佐藤
病院」が診断後の支援の
一つとしてピアサポート
活動に取り組んでいます。
一方で、本町の単独事
業として取り組みを進め
るには、ピアサポーター
の人材確保や活動を支援
するチームの整備等が必
要であることから、まず

【ユマニチュード4つの柱】



- ※1 認知症ピアサポート：認知症の方やその家族が
同じ立場や環境にいる方と悩みや体験を共有し、
支え合う仕組みのこと。
- ※2 ユマニチュード：具体的に「見る、話す、触れる、
立つ」の4つを柱に思いやりの気持ちを伝える
こと。

サポーター養成等 環境づくり努める

町長 「ユマニチュード」
は、不安な気持ちになり
ます。

問 認知症等の人に 寄り添った地域社 会の構築に向けた、「ユ マニチュード」推進の 考えを伺います。

やすい認知症等の方との
コミュニケーションを大
切にするケア技法の一
つです。「認知症サポー
ター養成講座」などにも
この考え方を取り入れ、
双方が尊厳を持って暮す
ことのできる環境づくりに
努めていきます。

※2 「ユマニチュード」の推進

は関係機関との連携の中
で支援活動に努め、医療
センターの意見を参考に
しながら先進事例などの
情報も収集し、インタ
ーネットを活用した交流も
含めた研究をしていき
たいと思います。

ごみの再資源化 町の取組状況



くまさか けんたろう 議員



問 町では、ごみの
再資源化や不用品
の再利用に向けて、様々
な事業を行っています。
そこで、これまでの
ごみの減量化と資源化
の取り組みについて伺
います。

分析結果の掲載へ 意識啓発に努める

町長 家庭から排出され
るごみ質の分析結果を広
報誌やホームページに掲
載し、燃やすごみに含ま
れる資源の割合や、品目
ごとの構成比をお知らせ
するなど、減量化や分別
に対する意識啓発に努め
ています。

不用品を再利用する仕組み導入

問 不用品を再利用
する仕組みを導入
したとありましたが、
リユース事業者が運営
するホームページサイ
トである「おいくら」
の具体的な仕組みにつ
いて伺います。

ホームページを活用
不用品を売却できる
環境課長 本事業につ
いては、家庭で不要とな
った家具や家電のほか、衣
類や書籍などを不用品リ
ユース事業者のホームペ
ージ「おいくら」を通し
て売却することで、リユ
ースにつながる事業です。
具体的には、「おいくら」
を活用し、処分した
不用品情報を登録する
ことで、事業者に加
盟されているリサイク
ルショップにより一括
査定され、買取価格
や買取方法をまとめて
比較し、不用品を
売却できるサービス
です。



「おいくら」ホームページ
(株式会社マーケットエンタープライズ)

視察来町

長野県 下諏訪町

日時 令和6年11月5日
来町者 下諏訪町議会
議会運営委員会
青木利子 委員長
ほか 5名

視察内容

議員定数の削減について
ほか



下諏訪町議会 議会運営
委員会の皆様を歓迎

熊本県 芦北町

日時 令和6年11月19日
来町者 芦北町議会
建設経済文教常任委員会
草野安道 委員長
ほか 5名

視察内容

空き家対策について



芦北町議会 建設経済文教
常任委員会の皆様を歓迎

栃木県 上三川町

日時 令和7年1月10日
来町者 上三川町議会
広報委員会
松本信明 委員長
ほか 4名

視察内容

議会だよりの編集発行
等について
ほか



上三川町議会 広報委員会の皆様を歓迎

長野県 箕輪町

日時 令和7年1月28日
来町者 箕輪町議会
議会活動活性化委員会
寺平秀行 委員長
ほか 7名

視察内容

議会の活性化について



箕輪町議会 議会活動活性化
委員会の皆様を歓迎

議長・副議長・ 事務局長合同研修会

日時 令和7年1月28日
場所 神奈川自治会館
出席議員
・井出 一己 議長
・山中 正樹 副議長

研修内容

町村議会における議員
定数・議員報酬について
講師 株式会社廣瀬行政
研究所 代表取締役
廣瀬和彦氏

広報広聴常任委員会 行政視察を実施

令和6年11月12日に広報広聴常任委員会で行政視察を実施しました。視察場所と目的は次のとおりです。

◎目的「議会広報広聴活動について」

●事業の概要

開成町では、「議会広報改革」として、「読む」から「見る」魅せる「改革」を推進しています。この取り組みの一環として、議会だよりを冊子型からタブロイド判に変更し、併せて、多様な動画を取り入れた議会ウェブサイトを令和4年9月に開設し、広報紙とウェブサイトの両輪で議会広報活動に取り組んでいます。

●具体的な内容

「ギカイだより改革」では、「一人でも多くの町民に、まずは手に取ってもらいたい」という信念を持ち、毎号デザインや構成

に変化をつけて発行することを心がけています。しかし、議会だよりは議会終了2か月後に発行されるため、より早く、より分かりやすく情報を発信するため、議会独自のウェブサイトを開設しました。

●具体的な内容

「ワールドカフェ」とは、「ワールド…世界旅行のようにテーブルを移動」し、「カフェ…カフェのようにリラックスした雰囲気」との意味を持ち、メンバーの組み合わせを変えながら4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、参加者全員で話し合っているような効果が得られ、参加者のアイデアが次々出て、新しいアイデアが生まれます。



視察の様子

◎目的「議会意見交換会について」

●事業の概要

寒川町では、「ワールドカフェ方式」の意見交換会の開催について研修を受けた後、意見交換会の開催方法を変更しました。ワールドカフェ方式の意見交換会は、参加者に

＜行政視察を終えて＞

一人でも多くの方に議会の活動を知っていただき、興味を持っていただくために、広報広聴活動を改革することが必要と考えています。

令和7年2月15日

行政視察報告

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、令和6年10月23日から25日までの3日間、行政視察を実施しました。視察場所と視察内容は次のとおりです。

香川県東かがわ市

◎目的「グランピング『ザランタン東かがわ』について」

●事業の概要

グランピングブランド「ザランタン」の企画・運営で培ったノウハウと、民間業者である株式会社ダイブの人材アセットを活用し、大池オートキャンプ場を「ザランタン東かがわ」として再生し、豊かな自然と様々な特色を活かした魅力あるキャンプ場へリニューアルオープンしました。

●主な施策

当施設は、カヤック等の水上アクティビティを体験でき、自然を存分に堪能できる施設です。

その他にも、市内・県内産の食材を使った夕食BBQメニューなど、東かがわの豊かな自然を生かした非日常空間を提供しています。



東かがわ市のグランピング施設

香川県丸亀市

◎目的「自主防災活動の『地域力』で自治会の加入率向上について」

●事業の概要

地域住民の利便性の向上を図り、地域の特色をいかした運営ができるよう、各地区のコミュニティが指定管理者となり、コミュニティセンターの管理運営に取り組んでいます。特に、自治会への加入促進や、防災活動に

力を入れています。

●主な施策

自治会加入率向上に向けた主な取り組みは、防災活動の強化と川西コミュニティセンターPRなどです。会長、役員、代議員と共に地域活動を充実させようと、のほりの設置や戸別訪問の実施など、さまざまな取り組みを強化してきました。



川西コミュニティセンター視察

徳島県東みよし町

◎目的「移住定住施策について」

●事業の概要

「東みよし町の限界集落で起きていること」の情報発信を行うため、関係人口に対して、地域はどのようなことを求めているのか、限界集落の再生に取り組む法市集落

を切り口とした関係人口創出・拡大事業を掲げた

地方創生策とすべく、地域住民等と協働し、持続的・継続的に実施できる仕組みを構築しています。

●主な施策

東みよし町の交通の利点をいかし、地域の方や他県などから来られる方の交流の場として、徳島自動車道「吉野川SA」に「東みよし町移住・交流支援センター」を設置するなど、移住への情報提供や相談対応、体験・交流事業を展開し、移住交流人口の増加を図っています。

愛媛県四国中央市

◎目的「デマンドタクシーについて」ほか

●事業の概要

四国中央市は、平野部が狭小で谷筋が多い地域であり、路線型交通ではバス停までの距離が遠い地域などをカバーすることができないため、一定の区域ごとに「デマンド型（予約型）」の乗合タク

シー」を運行することで、高齢者等の交通弱者の安価な移動手段を確保し、生活利便性の向上を図るとともに活動範囲の拡大や、社会参加の機会増大など、住民福祉の向上につなげています。

●主な施策

公共交通の空白地域の解消をめざし、地域内フイダー路線5系統を設定し運行しています。また、各エリア内の移動はデマンド型乗合タクシー、エリア間の移動は、バスでサービスできない山あい地域へのデマンド型乗合タクシーの導入と鉄道・幹線バスとの連携を図っています。

＜行政視察を終えて＞

自ら住んでいるまちをより良くするためには、いま何が必要なのか、課題は何か、魅力あるまちづくりについて考え、具体的に明確な目標を持てるような取り組みができれば良いと思いました。

常任委員会

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会で、令和6年10月16日から18日までの3日間、行政視察を実施しました。視察場所と視察内容は次のとおりです。

栃木県さくら市

◎目的「健康増進事業について」

●事業の概要

健康等に不安を抱える市民が、安心して日常生活を送ることができるよう、市民及び専門職の連携の強化を図り、交流会等の活動の拠点とすることを目的に「まちなか保健室さくら」を開設したほか、1人でも多くの市民が積極的に健康づくりに取り組むためのきっかけづくりとして、「さくら健康マイル事業」を実施しています。

●主な施策

「まちなか保健室さくら」では、①「気軽に立ち寄ることができる、相談

機能をもった地域の居場所」、②「ふらつと立ち

寄りゆつくりと何気ない話をするができる居場所」をコンセプトに、看護師等による無料健康相談等を行っています。

「さくら健康マイル事業」は、19歳以上の市民

を対象に、ラジオ体操等により健康ポイントを貯めて応募すると、抽選で賞品が当たるものです。



「まちなか保健室さくら」での説明

千葉県成田市

◎目的「学校跡地の利活用について」

●事業の概要

成田市では、小中学校の現状や長期展望を踏まえ、子どもたちにとって

どのような教育環境が望ましいかという視点等から、平成20年3月に「学校適正配置調査報告書」を策定しました。

その後、同報告書を基に、地域の実情を考慮しながら学校の統廃合の取り組みを進め、既に複数の学校の統廃合を実施しています。

●主な施策

学校跡地の利活用方針の決定の際には、地域のニーズを踏まえた活用をすることを基本とし、必要に応じて民間事業者と活用方法における意見交換等による市場調査を行います。その結果、庁内検討委員会で、利活用の方針や、「行政活用」とするか、「民間活用」とするかを決定した後、地域への説明会を実施する流れで事業を進めています。

埼玉県戸田市

◎目的「戸田型オルタナティブプランについて」

●事業の概要

近年、さまざまな事情



戸ヶ崎教育長、浅生副議長を囲んで

により学校や教室に行けない児童生徒の数が増えており、戸田市では、不登校対策支援事業として同プランを推進しています。未来を担う「子ども」が誰一人取り残されずに教育を受けられる環境を整えるため、不登校児童生徒の学校内外の居場所を増やすための取り組みなど、さまざまな施策を進めています。

●主な施策

戸田型オルタナティブプランでは、多様な学びの場の拡充として、小学校校内サポートルーム「ぱれっとルーム」や、オンラインシェア型教育支援センター「roomK」等を設置し、不登校児童生徒を支援しています。

●主な施策

外国籍児童が編入時に円滑に学校へ適応できる環境整備の一環として、平成15年に「多言語サロン」を開設しました。同事業では、外国籍児童生徒やその保護者向けに、大泉町図書館において日本での生活及び日本語の勉強ができる教室を週3回開催しています。

＜行政視察を終えて＞
数々の先進的な取り組みは、世間の動向にアンテナをたてた積極的な初期対応があつてこそであり、本町も見習い、関係機関等と積極的な連携を図るべきだと思います。

群馬県大泉町

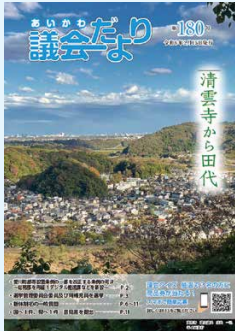
◎目的「外国籍児童・生徒の教育環境の整備について」

●事業の概要

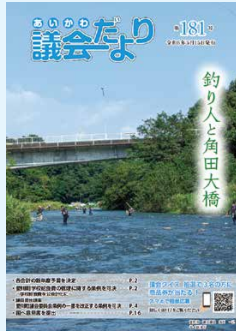
多文化共生の進む大泉町では、令和5年度より幼児期の英語教育を導入し、あわせて小中学校での英語教育のさらなる充実を図る取り組みを推進しています。

議会クイズに申し込まれた延べ140名の方から 議会だよりの感想をいただきました

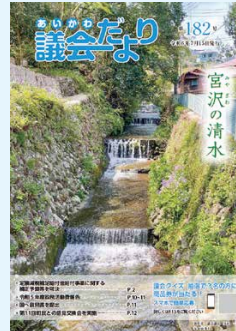
議会クイズに、毎号多くの皆様からご応募をいただいております。第180号（第30回議会クイズ）から第183号（第33回議会クイズ）までに寄せられたご意見、ご感想を一部紹介します。



第180号



第181号



第182号



第183号

最近では地震などの災害が全国で多発しているのもあり、災害時のライフラインの心配をしていましたが、生活必需品などの備蓄をしっかりとできていることが分かり、これからも愛川町で安心して暮らせると感じました。

私のような学生でもとても読みやすい議会だよりで、より町の運営や議会に関して興味を持つ機会になりました。次回も楽しみにしております。(10代 女性)

町の為にいろいろな事が行われているのだなと思いました。議会だよりの表紙もとても素敵に撮れていますね。

そして、議会改革度調査ランキング、町村の部22位すごいですね！(50代 女性)

透明度の高い議会内容を町民へ開示されていると認識しています。今後も素のままの議会だよりを期待致します。(60代 男性)

予算はじめ、全体のテーマ、各議員の推した内容他、分かり易く記載されている。(70代 男性)

とても読みやすく、わかりやすい。写真も多くて楽しいです。(90代 女性)

毎回の素敵な写真、楽しみにしています。中津・春日台エリアの「こんなところあったんだ！」というスポットが知りたいです！(30代 女性)

小学生の子どもがいるため、教育関係や安全対策、防災関連に興味があります。

愛川町がどのような方向性で考えているのかを知るために議会だよりを読んでいきます。

読み終えた後、モヤモヤすることもあります。ほっこり写真館の写真を見て、愛川町の良い部分に思いを振り切るようにしています。(40代 女性)

このほかにもたくさんのご意見、ご感想をいただいております。より良い紙面づくりに活かしてまいりますので、今後ともご応募・ご感想お待ちしております。



©愛川町



貴重なご意見等をいただきました。
※意見交換会の詳細は、2月下旬頃に議会HPへ実施報告書を掲載予定です。

「愛川町発注の公共工事と建設業における最近の話題について」

テーマ

開催場所

町役場4階会議室

開催日

令和6年12月19日

愛川町建設業協会
との意見交換会

町議会では、「町民に開かれた議会」をより一層推進するため、次のとおり意見交換会を実施しました。

意見交換会

第34回 議会クイズ

問1 12月定例会に11人の議員が登壇しましたが、一般質問を行った女性議員は何人でしょうか？
①2人 ②3人 ③4人

問2 視察のため本町へ来町された議会が紹介されていますが、受け入れた視察の件数は何件でしょうか？
①1件 ②4件 ③10件

問3 議会広報広聴活動の更なる充実のため、広報広聴常任委員会で行政視察を行いました。議会だよりについての視察場所はどちらでしょうか？
①上三川町 ②清川村 ③開成町



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。
☆正解と当選者は次号で発表します。

《しめきり》 3月31日（月）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
●オンラインでの場合 右記の2次元コードを活用して、応募ができます。

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



町議会との 意見交換会

町民参加を基本とする、より一層の開かれた議会を目指すため、令和7年度も町民皆さんとの意見交換会を実施します。
なお、会場や日時、開催方法等については、改めて議会だより・町議会ホームページ等でお知らせをさせていただきますので、よろしく願います。

第33回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・②討論

問2・①マチイロ

問3・②令和7年3月15日

《当選者》

石川 淳子 様

白井 勝江 様

山戸 正雄 様

以上3名

令和7年第1回3月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
3	4	5	6	7	8	9
本会議 (施政方針・ 提案説明)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)				
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (個人総括 質疑)	本会議 (会派代表 質問)	総務建設/ 教育民生 常任委員会			
17	18	19	20	21	22	23
	総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会	春分の日	総務建設 常任委員会		
24	25	26	27	28	29	30
教育民生 常任委員会			本会議 (委員長報告・ 討論・採決)			

次回定例会 のお知らせ

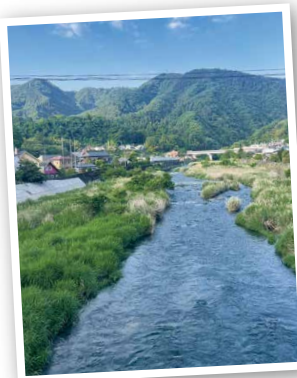
次回、第1回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は2月21日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
TEL 046-285-2111
(内線3792)

❄️ あいかわ・ほっこり写真館 ❄️

新たな年を迎えて、1か月以上過ぎました。

2025年も、愛川町の更なる発展に向けて、議員一同、より一層精進してまいります。
本号でも、愛川町の魅力やほっこりをお届けするため、各委員が町内を巡り写真を撮影してきました。
それぞれの写真を見て、こころが「ほっこり」していただければ幸いです。



日向橋からの清流中津川



冬の仏果山



お散歩うれしいな♪



俺についてこい。ワン。



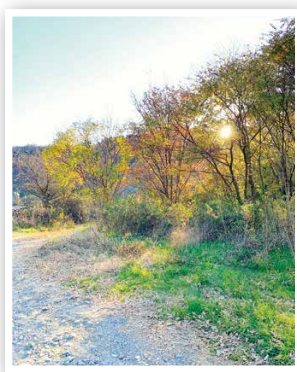
菜の花の先を眺めると箕輪耕地



諏訪神社から望む
小沢の町並み



田んぼからの水道道



ファミリー釣り場に
そそぐ木漏れ日



富士が映える寒椿

◎議会クイズは15ページに掲載しています。

委員 小林 敬子
委員 阿部 隆之
委員 佐藤 りえ
委員 岸上 敦子
委員 花上 功
委員 茅 孝之
副委員長 熊坂健太郎
委員長 鈴木 信一
広報広聴常任委員会

議会だより第183号の表紙「愛川の小京都」と題した「へいしの坂」の写真を見た方が「どんなところか知りたくなって夫婦で行ってみたいよ」と嬉しい反応がありました。表紙写真は「議会だより」の顔として重視しており、近年は議員自ら撮った写真を持ち寄って選定しています。本常任委員会では、広報広聴活動の更なる充実を図るため、11月12日に開成町と寒川町の行政視察を実施しました。（11ページに掲載）視察先で学んだことを活かし、議会だよりをはじめ広報広聴活動の更なる充実に努めてまいります。

編集後記